### 令和6年度北海道環境パートナーシップオフィス事業評価委員会 議事概要

- 1 日 時 令和7年2月21日(金)15:30~17:30
- 2 会 場 札幌第一合同庁舎3階 北海道地方環境事務所内会議室
- 3 出席委員 山中委員、久保委員、飯岡委員、栗田委員、大橋委員
- 4 議 事
- (1) 北海道環境パートナーシップオフィス運営業務に係る当該年度の活動実績について 説明及び質疑
  - ・請負事業者である(公財)北海道環境財団及びEPO北海道より、令和6年度の活動 実績を説明の上、質疑応答を行った。

#### (2) 委員会による評価

各委員の評価をとりまとめた結果及び主な評価ポイントは以下のとおり。

#### 総合評価

#### Α

#### 評価するポイント(委員からの意見)

・進捗状況の観点では、いずれも計画どおり進んでおり、進捗に問題となる点は ない。

# 評価内容

- ・成果の観点でも概ね達成以上であり、第VII期目標に向けて順調に進んでいると 評価できる。
- ・限られた人員の中、多角的かつ計画的に事業を行っており、十分な実績につながっているものと認識。
- ・人的資質によるところが多い事業内容である中、スタッフの入れ替わり、距離 的なデメリットがあり、大変努力して事業を実施している。
- ・「地域循環共生圏の推進に資するための推進業務」では、中間支援団体と事業の伴走、あるいは地域づくり×GX という先の見えにくい事業において、十分に健闘していると評価できる。

評価

内容

- ・北海道内で中間支援組織を増やす意味は大きい。そのためには中長期に人材を確保する必要があり、EPO 北海道に継続雇用の予算がつくことを期待する。また、地域のコーディネーターの育成に引き続き取り組んでいただきたい。
- ・市町村を含む多くの関係団体との連携について、さらなる工夫や改善を期待する。

## ・特に若年層への環境教育を進める必要があり、学校教育関係者との連携を深めていただきたい。

- ・地球環境保全に対する逆風が吹きつつある現在の状況においては、政治的な要因に囚われず、各々が正しい知識を身につけて、環境保全に取り組むことが必要。このことから、今後も本事業の重要性はますます高まると思われ、実効性の高い有益な活動を継続してほしい。
- ・EPO 北海道がもつノウハウを、リーフレットやブックレットのような形式でまとめていくことも考えられる。また、このような事業に人的資源を投じることができるような予算措置を、環境省に対して要望する。

#### (参考:総合評価の考え方)

| 総合評価 | 考え方                       |
|------|---------------------------|
| А    | 進捗状況は順調であり、十分な成果を上げている。   |
| В    | 進捗状況は順調であり、成果は概ね得られている。   |
| С    | 進捗状況は順調であるが、成果は不十分なものがある。 |
| D    | 進捗状況、成果ともに達成できていない。       |

#### 5 閉会